

医師の診断を受け、登園のめやすを確認していただきたい感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から 発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間 (発症前24時間から発病後3日 程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過して から
風疹	発しん出現の前7日から 後7日間位	発しんが消失してから
水ぼうそう（水痘）	発しん出現の1～2日前から 痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化(かさぶた)していること
おたふく風邪 (流行性耳下腺炎)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺または、舌下線の腫脹が発現した後5日を 経過し、かつ、全身状態が良好になってから
結核	—	医師により感染のおそれがないと認められてから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日 間	主な症状が消失した後2日経過してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現 後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質 製剤による5日間の治療が終了してから
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	—	医師により感染のおそれがないと認められてから (無症状病原体補修者の場合、5歳未満の子どもについて は、2回以上連続で便から菌が検出されないこと)
細菌性髄膜炎	—	病状により医師において感染のおそれがないと認め られてから
新型コロナウイルス	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を 経過してから
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症 した数日間	発熱や口腔内に水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事が 摂れること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
流行性嘔吐下痢症 ウイルス性胃腸炎 腸感冒 (ノロウイルス) (ロタウイルス) (アデノウイルス)等	症状がある間と、症状消失後1週 間(量は減少していくが数日間ウイ ルスを排泄しているので注意が 必要)	嘔吐下痢の症状が治まり、普通便が確認でき、普段の 食事が摂れること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程 度ウイルスを排泄しているので注 意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事が 摂れること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化していること
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
流行性角結膜炎	充血、めやに等の症状が 出現した数日間	結膜炎の症状が消失してから